

官民境界等先行調査成果
電子納品要領（案）

平成 19 年 3 月

国土交通省 土地・水資源局国土調査課

－ 目次 －

1	適用	1
2	フォルダ構成	1
2.1	全体構成	1
2.2	地籍調査フォルダ構成	5
3	成果の管理項目	8
3.1	測量情報管理項目	8
3.2	地籍調査成果管理項目	12
4	ファイル形式	14
4.1	ファイル形式	14
4.2	地籍調査成果ファイル	14
5	ファイルの命令規則	24
5.1	地籍調査成果ファイル	24
6	検符等及び成果の検査	30
6.1	検符及び押印	30
6.2	電子納品成果の検査	30
7	電子媒体	31
7.1	電子媒体に貼るラベルについて	31
8	その他留意事項	32
8.1	電子納品の対象外となる成果等	32
8.2	測地系	32
付属資料1		33
1.1	測量情報管理ファイルの DTD 例	33
1.2	地籍調査成果管理ファイルの DTD 例	36
付属資料2		37
2.1	測量情報管理ファイルの XML 例	37
2.2	地籍調査成果管理ファイルの XML 例	39
付属資料3		40
3.1	地籍調査成果簿出力フォーマット	40

1. 適用

「官民境界等先行調査成果電子納品要領（案）」（以下本要領という）は、国土調査法に基づく地籍調査のうち、「都市再生地籍調査事業」（平成 14 年 4 月 1 日付国土国第 636 号）で行う官民境界等先行調査（以下、「先行調査」という）の C、D、E'、F'、G'、FR 工程（A、B、H 工程は除く）から作成される成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、先行調査の成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

本要領に定めない事項については、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」及び、「測量成果電子納品要領(案)」に従うこと。

本要領において便宜的名称として使用する E'、F'、G'、FR 工程について、E' 工程は（先行筆界点調査）、F' 工程は（街区細部測量、街区調査図作成）、G' 工程は（街区面積計算）を示すものとする。これは、通常的地籍調査における工程〔例：E 工程（一筆地調査）〕と調査の名称及び作業内容を一部分のみ実施している都合上、識別のため「'」を付している。必須の工程ではないが、地域条件等により実施される FR 工程は（現況測量・復元測量）を示し、現地に筆界点が明示されていない等の理由により筆界点を復元する場合に、現地の状況を把握するために実施する測量（現況測量）及び、確定図等筆界に関する資料に基づいて筆界点の復元を行う測量（復元測量）をいう。

FR 工程については実施した場合のみ、本要領に従い電子納品を行うものとする。

2. フォルダ構成

2.1 全体構成

電子的手段により引き渡される地籍調査の成果品は「図 2-1 フォルダ全体構成図」に示すフォルダ構成とする。

測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に「TISEKI」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。

「TISEKI」サブフォルダの下には、「測量記録」、「測量成果」、「その他」を格納するため「WORK」、「DATA」、「OTHR」のサブフォルダを置く。また地籍調査の成果等及び、地籍調査成果管理ファイルを格納し、管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。

【留意事項】

- ①フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- ②格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。
- ③XSL ファイルの格納は任意とする。

【解説】

(1) 電子媒体ルートフォルダ

1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートフォルダに格納する「業務管理ファイル」は「業務管理項目」（業務の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_D.XML」とする。

「業務管理項目」の詳細は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」に示すとおりである。

(2) SURVEY フォルダ（測量データフォルダ）

1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」（測量情報の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。

「測量情報管理項目」の詳細は、「3. 1 測量情報管理項目」に示すとおりである。

(3) TISEKI サブフォルダ（地籍調査サブフォルダ）

1) 地籍調査成果管理ファイル

「TISEKI」フォルダに格納する「地籍調査成果管理ファイル」は、「地籍調査成果管理項目」（地籍調査成果の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_TSK.XML」とする。なお、「TISK_D01.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。「地籍調査成果管理項目」の詳細は、「3.2 地籍調査成果管理項目」に示すとおりである。

2) 測量記録サブフォルダ（WORK）

地籍調査の大工程で成果品を作成する過程の記録を格納する。本フォルダ以下には実施した大工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 2-2 の地籍調査フォルダに記す。

3) 測量成果サブフォルダ（DATA）

地籍調査の大工程の最終成果品（次の工程に引き渡すもの）を格納する。本フォルダ以下には実施した大工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 2-2 の地籍調査フォルダに記す。

4) その他データサブフォルダ（OTHR）

地籍調査における各種証明書、説明書等を格納する。

(4) DOC サブフォルダ (ドキュメントサブフォルダ)

「DOC」サブフォルダに格納する「ドキュメントファイルは、当該地籍調査の業務の特記仕様書や、業務期間中にやりとりされた協議書の電子ファイルがこれに相当する。

これらのファイル保存形式及びファイル名称は以下に従うものとする。

表 2-1 DOC サブフォルダ内の成果

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備 考
特記仕様書	PDF	SPECS	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
協議書	PDF	MEETS	複数協議書ファイルが存在する場合、連番 (3 桁) をファイル名称の後に付加する。
実施報告等	オリジナル	SUVRP	

例えば協議書が 10 回分ある場合、ファイル名称は「MEETS001. PDF、MEETS002. PDF、MEETS003. PDF MEETS010. PDF」となる。

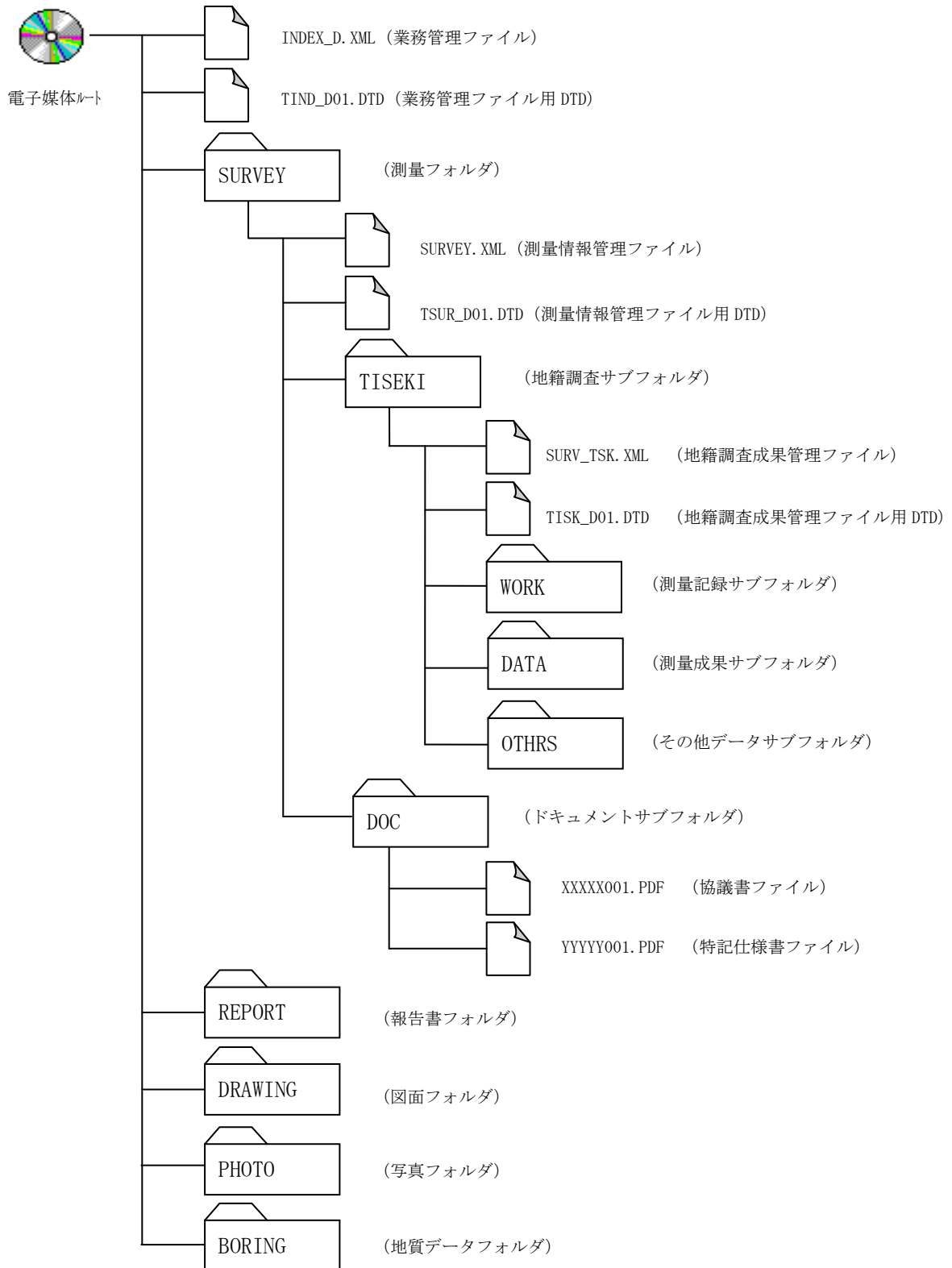


図 2-1 フォルダ全体構成図

2.2 地籍調査フォルダ構成

地籍調査の成果を収納するには次の「WORK」「DATA」「OTHRs」のサブフォルダを置き、各々の成果等を格納する。

- ・「WORK」サブフォルダには地籍調査の記録を格納する。
- ・「DATA」サブフォルダには地籍調査の成果を格納する。
- ・「OTHRs」サブフォルダには測量機器検定証明書、ファイル説明書等のデータを格納する。

さらに、「WORK」、「DATA」サブフォルダは、その下に実施した大工程に応じて、地籍調査細区分を示すサブフォルダを設け、成果を格納する。地籍調査細区分フォルダの名称は表 2-2 に示す名称とする。

【解説】

測量成果格納フォルダ（「TISEKI」）の下に、地籍調査の大工程で成果品を作成する過程の記録（精度管理表等）と、地籍調査の大工程の最終成果品（成果表等）とに分類して格納するためのサブフォルダを作成し、各々の下に当該成果を格納する。

「WORK」「DATA」においては、各々、測量地区（地番区域ではない）および、精度区分に応じて成果等を整理する必要がある場合については、それぞれの細区分サブフォルダを設け当該成果を格納するものとする。これらのサブフォルダは、それぞれ表 2-2 に示す名称とする。なお、地籍調査成果がないサブフォルダは省略することができるものとする。

表 2-2

測量区分	成果区分	地籍調査細区分	サブフォルダ名
地籍調査 <TISEKI>	測量記録 <WORK>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		地籍図根多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		先行筆界点調査 <EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		街区細部測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		街区調査図の作成 <F2PROC_*>	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
		街区面積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /WORK/GPROC_*
		現況測量・復元測量	/TISEKI

		<FRPROC_*>	/WORK/FRPROC_*
測量成果 <DATA>	地籍図根三角測量		/TISEKI
	<CPROC_*>		/DATA/CPROC_*
	地籍図根多角測量		/TISEKI
	<DPROC_*>		/DATA/DPROC_*
	先行筆界点調査		/TISEKI
	<EPROC_*>		/DATA/EPROC_*
	街区細部測量		/TISEKI
	<F1PROC_*>		/DATA/F1PROC_*
	街区調査図の作成		/TISEKI
<F2PROC_*>		/DATA/F2PROC_*	
街区面積測定		/TISEKI	
<GPROC_*>		/DATA/GPROC_*	
現況測量・復元測量		/TISEKI	
<FRPROC_*>		/DATA/FRPROC_*	
その他データ <OTHR>			/TISEKI /OTHR

注)「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用する。1 地区 1 精度で実施した場合は「A」を適用する。

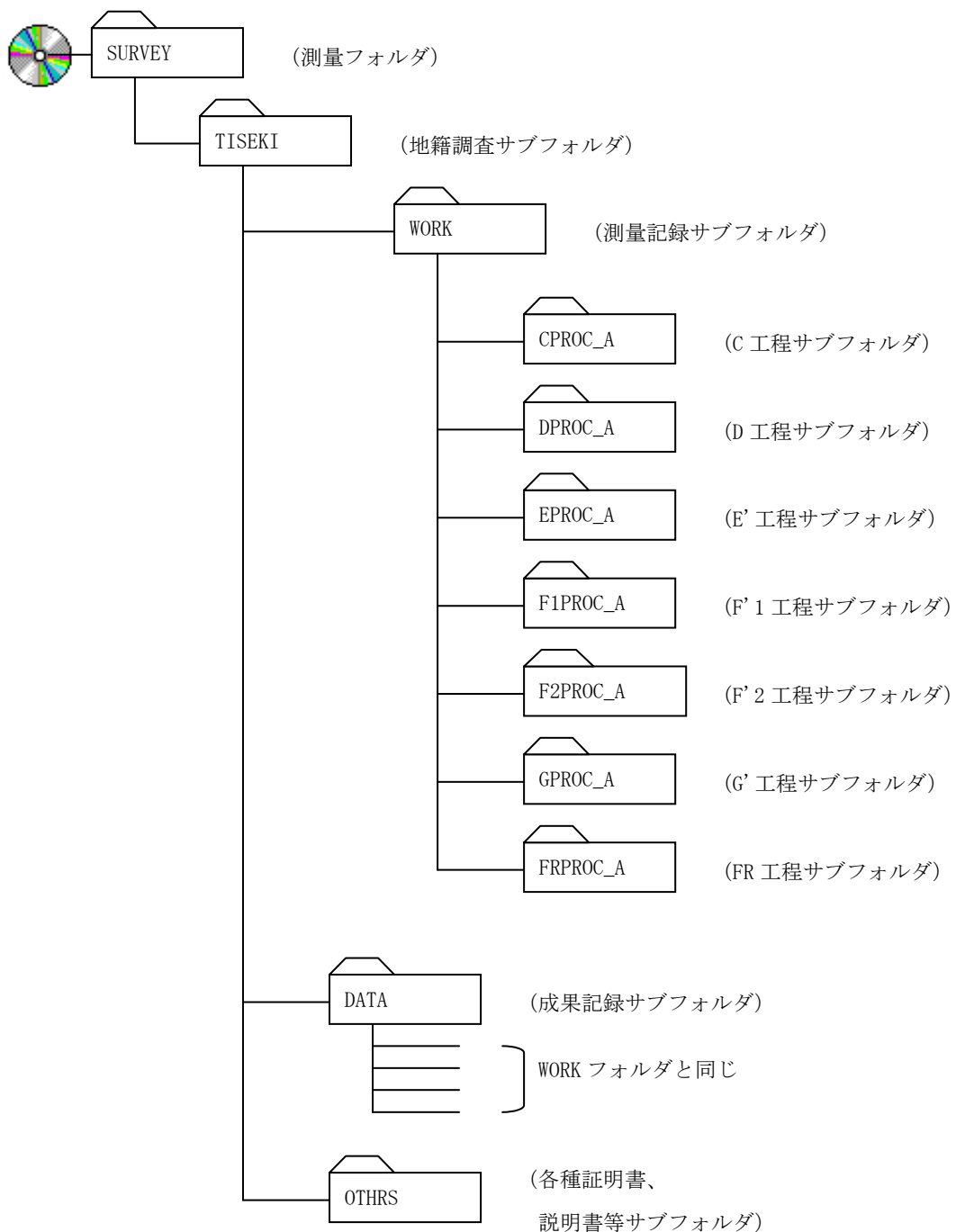


図 2-2 地籍調査フォルダ構成

3. 成果品の管理項目

3.1 測量情報管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル (SURVEY.XML) に記入する測量情報管理項目は、表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適所要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版（「先行 200704-02」で固定）を記入する。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎	
	助言番号	国土地理院が発行する「助言番号」を記入する。	半角英数字	8	□	◎	
	製品仕様書名または作業規程名	当該測量の基となった製品仕様書または作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎	
	地籍調査成果格納用フォルダ名	地籍調査成果を格納するフォルダ名称 (TISEKI で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	◎	
	基準点測量成果格納用フォルダ名	基準点測量成果を格納するフォルダ名称 (KITEN で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	水準測量成果格納用フォルダ名	水準測量成果を格納するフォルダ名称 (SUIJUN で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	地形測量成果格納用フォルダ名	地形測量成果を格納するフォルダ名称 (CHIKEI で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	路線測量成果格納用フォルダ名	路線測量成果を格納するフォルダ名称 (ROSEN で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	河川測量成果格納用フォルダ名	河川地形測量成果を格納するフォルダ名称 (KASEN で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	用地測量成果格納用フォルダ名	用地測量成果を格納するフォルダ名称 (YOUCHI で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称 (DOC で固定) を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	◎	
場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2	□	◎	
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数	64	□	○	
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○
		北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○
		南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○
	平面直角座標系	平面直角座標(19系)の系番号で記入する。	半角数字	2	□	○	

	西側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	○	
	東側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	○	
	北側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	○	
	南側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	○	
測量情報	測量区分	本要領に規定する「測量区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	□	◎	
	地籍調査細区分	本要領に規定する「地籍調査細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	□	◎	
	地籍調査記録フォルダパス名	地籍調査記録のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字大文字	64	□	◎	
	地籍調査成果フォルダパス名	地籍調査成果のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字大文字	64	□	○	
	その他データフォルダパス名	各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字大文字	64	□	○	
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。(※測量区域番号に記されたものの中から選択する。DTD 文法上改名)	半角数字	2	□	◎	
	等級精度	等級	地籍調査成果等の等級を表す記号（数字）を記入する。	半角数字	2	□	◎
		精度	地籍調査成果等の精度を記入する。	半角数字	1	□	
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	2	□	○	
	解像度	地籍調査成果等の解像度を記入する (m)	半角数字	7	□	○	
	アナログデジタル区分	地籍調査手法について、アナログ、デジタルの区分を記入する。	半角数字	1	□	○	
	新規修正区分	対象地籍調査の新規地籍調査か修正地籍調査かの区分を記入する。	半角数字	1	□	○	
	面積	地籍調査範囲の概略の面積を記入する。単位：k m ²	半角数字	6	□	○	
	距離	地籍調査延長距離の概数単位：km	半角数字	6	□	○	
点数	基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)	半角数字	4	□	○		
モデル数	空中三角測量における、モデルの数を記入する	半角数字	4	□	○		
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△	
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	□	△	
ソフトウェア用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

○：条件付き必須記入項目。(データが分かる場合は必ず記入する)

△：任意記入項目。

【解説】

(1) 「助言番号」

地籍調査の場合は「99999999」（8桁）を記入する。公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院から発行された番号「助言番号」を記入する。文書番号から助言番号への記入方法は表 3-1-1 のとおりとする。

表 3-1-1 略称記号と助言番号の対象表

略称記号	文書番号	名称	略称記号	文書番号	名称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖縄支所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

例) 助言番号

国地道公発第 2 2 6 号

平成 13 年〇 月〇 日

平成 13 年度の北海道地方測量部の助言番号

→ H13A0226

(2) 製品仕様書名または作業規程名

当該地籍調査作業の基となった製品仕様書名または作業規程名を記入する。(例:地籍調査作業規程準則(改定平成 14 年 2 月 20 日国土交通省令第 11 号))

(3) 場所情報(カテゴリ)

本地籍調査業務の対象となった地籍調査区域の数だけ繰り返して記入する。(例:3箇所が調査実施対象→3回繰り返す)

1) 測量区域番号・測量区域名称

地籍調査区域が複数にわたる場合、実際に地籍調査を行った区域毎に区域番号を割当てたものとする。割当てられた地籍調査区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。

2) 区域情報

区域情報については、「境界座標」、「平面直角座標値」のいずれかを用いて記入する。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入する必要はない。区域情報の記入にあたっては、上記 2 項目のうち「平面直角座標」による記入が最も望ましい。緯度経度、または平面直角座標のどちらかまたは双方を記入する。

(4) 測量情報(カテゴリ)

本地籍調査業務で行われた地籍調査種類を「地籍調査細区分」の単位(地籍調査実

施場所が異なる場合は別物とする) で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

1) 測量区分

測量区分の名称は「地籍調査」を記入する。サブフォルダ名は「TISEKI」である。

2) 地籍調査細区分

省略。

3) 地籍調査記録フォルダパス名・地籍調査成果フォルダパス名

地籍調査成果が収められた測量記録フォルダ及び測量成果フォルダ以下のフォルダのパス名を記入する。当該地籍調査の成果が中間成果であって成果フォルダに格納されていない場合には記入しない。記入方法は以下に従う。

①フォルダ階層表示は「/」で区切る。

②パスの書出しは「SURVEY」とする。

③成果区分のサブフォルダのパス名は「DATA」とする。

4) 等級・精度

地籍調査の「等級」または「精度」のどちらか一方を必ず記入する。

ただし、地籍図根三角測量など精度が記入できない場合は「0」を記入する。精度の記入方法は表 3-1-2 のとおりとする。

表 3-1-2 精度表

地籍調査精度	記入コード
甲 1	1
甲 2	2
甲 3	3
乙 1	4
乙 2	5
乙 3	6

5) 画像種別

省略。

6) 解像度

省略。

7) アナログデジタル区分

省略。

8) 新規修正区分

省略。

9) 面積

省略。

- 10) 距離
省略。
- 11) 点数
省略。
- 12) モデル数
省略。

3.2 地籍調査成果管理項目

成果品の電子媒体に格納する地籍調査成果管理ファイル（SURV_TSK.XML）に記入する地籍調査成果管理項目は、表 3-2 に示すとおりである。

表 3-2 地籍調査成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
地籍調査成果情報	地籍調査区分フォルダ名	「地籍調査区分」のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)他	半角英数字 大文字	8	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査成果区分フォルダ名	測量成果区別(測量記録、成果データ)のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数字 大文字	8	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査細区分フォルダ名	表 2-2 で定義されたフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数字 大文字	8	<input type="checkbox"/>	○
	地籍調査成果名称	地籍調査成果の名称を記入する(例:精度管理表、観測手簿等)	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査成果ファイル形式	地籍調査成果ファイルの記録形式を記入する。	半角英数字	12	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査成果レコードフォーマット	地籍調査成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字	64	<input type="checkbox"/>	△
	地籍調査成果作成ソフトウェア名	地籍調査成果を作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	○
	イ 成 果 情 報 フ ァ ィ ル	地籍調査成果ファイル名	測量成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数字 大文字	12	<input type="checkbox"/>
地籍調査成果ファイル名副題		内容が分かる程度の副題を記入する	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	○
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	<input checked="" type="checkbox"/>	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】 : 電子媒体作成者が記入する項目。

▲ : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎ : 必須記入項目。

○ : 条件付き必須記入項目。(データが分かる場合は必ず記入する)

△ : 任意記入項目。

【解説】

- (1) 地籍調査成果情報（カテゴリ）

格納されている成果の種類の数だけ繰り返し記入する。また、項目名の成果ファイル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。
- (2) 地籍調査区分フォルダ名
地籍調査区分のフォルダ名「TISEKI」を記入する。
- (3) 地籍調査成果区分フォルダ名
地籍調査の成果区分の以下のサブフォルダ名を記入する
 - ①「WORK」・・・ 成果品を作成する過程の記録を格納する。
 - ②「DATA」・・・ 最終成果品を格納する。
 - ③「OTHR」・・・ 証明書、説明書等を格納する。
- (4) 地籍調査細区分フォルダ名
細区分名称は表 2-2 地籍調査フォルダ構成に示す記録サブフォルダ名を記入する。
地籍調査の作業を分けせず 1 つのサブフォルダで作成する場合は、「CPROC_A」、複数地区、複数精度区分の測量作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。
- (5) 地籍調査成果名称
地籍調査成果の名称（表 4-1 の成果等の名称を参照）を記入する。
- (6) 地籍調査成果ファイル形式・地籍調査成果レコードフォーマット
地籍調査成果ファイル形式を記入する。地籍調査成果レコードフォーマットの名称または準拠した仕様等の説明を記入する。
『測量成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DOC」等通常はファイルの拡張子を記入する
『測量成果レコードフォーマット』: 特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略する。
- (7) 地籍調査成果ファイル名
ファイル命名規則に従って付けた成果のファイル名を記入する。（拡張子含む）
- (8) 地籍調査成果ファイル名副題
成果ファイル個々について利用上副題をつけて管理することが望ましいものについて、成果の内容がわかる記述を行う。具体的な内容は受発注者間の協議により定める。

4. ファイル形式

4.1 ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

(1) 業務管理ファイル及び各成果管理ファイル

業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び測量成果管理ファイルのファイル形式はXMLとする。

(2) 測量成果等

測量成果等のデータファイルの形式は、「4.2 地籍調査成果ファイル」に示すとおりにする。

(3) スタイルシート

管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合はXSLに準じる。

【解説】

- ・本要領「第2章 フォルダ構成」解説に示したように、業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び地籍調査成果管理ファイルのファイル形式はXMLとする。
- ・地籍調査成果等のファイル形式は、「4.2 地籍調査成果ファイル」において『表 4-1(a) C 工程成果のファイル形式』から、『表 4-1(g) FR 工程成果のファイル形式』に示される形式で納品する。
- ・各管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、各管理ファイルと同じ場所に格納する。

4.2 地籍調査成果ファイル

地籍調査（先行調査）の成果は、表 4-1 に表示されるファイルの形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする

表 4-1(a) C 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
地籍図根三 角測量	基準点成果簿（写）	PDF	
	既知点点の記	PDF	
	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	

	選点手簿	PDF	
	三角点現況調査報告書	PDF	
	選点図	PDF	
	平均図	PDF	
	建標承諾書	対象外	
	埋標手簿	PDF	
	観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	偏心計算簿	PDF	
	点検計算簿	PDF	
	網平均計算簿	PDF	
	受信状況図 (=カーテン情報)	PDF	
	観測スケジュール	PDF	
	三角点精度管理表	PDF	
	三角点精度管理表付図	PDF	
	三角点成果簿	PDF	
	三角点成果簿 (数値データ)	TXT	
	三角点網図	SXF	他の CAD 形式でも可
	点の記	PDF	
	測量標の地上写真	PDF	+オリジナル数値データも可

表 4-1 (b) D 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
地籍図根多 角測量	基準点成果簿 (写)	PDF	
	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	
	選点図	PDF	
	平均図	PDF	

表 4-1(c) E' 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形式	備考
先行筆界 点調査	調査図素図	PDF	CAD データでも可
	調査図一覧図	PDF	
	地籍境界調査票（データ出力用）	PDF	+オリジナル数値データも可
	調査図	PDF	
	資料整理簿（土地所有者一覧表）	PDF	
	地積測量図写	PDF	
	登記簿謄本及びその他登記関連資料	PDF	
	街区整理簿	PDF	

表 4-1(d) F' 1 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形式	備考
街区細部 測量	使用機器検定証明書・試験検査成績表	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	
	街区細部図根測量 観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	街区細部図根測量 観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	街区細部図根測量 座標計算書	PDF	
	街区細部図根測量 精度管理表	PDF	
	観測スケジュール	PDF	
	三次元網平均計算簿	PDF	
	街区細部図根測量 点検計算簿	PDF	
	街区細部図根測量 セット間較差の 点検及び座標計算書	PDF	
	街区細部図根測量 成果簿	PDF	
	街区細部図根測量 成果簿（数値データ）	TXT	
	街区細部図根点網図	SXF	他の CAD 形式でも可
	街区細部図根点配置図	SXF	他の CAD 形式でも可
	先行筆界点測量 観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	先行筆界点測量 観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	先行筆界点測量 座標計算書	PDF	
	先行筆界点測量 セット間較差の点 検及び座標計算書	PDF	

	先行筆界点成果簿	PDF	
	先行筆界点成果簿（数値データ）	TXT	
	先行筆界点測量 精度管理表	PDF	

表 4-1(e) F'2 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形式	備考
街区調査 図の作成	街区調査図	SXF	他の CAD データでも可
	街区調査明細図	SXF	他の CAD データでも可
	街区調査図一覧図	SXF	他の CAD データでも可
	先行筆界点番号図	SXF	他の CAD データでも可

表 4-1(f) G' 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形式	備考
街区面積 測定	街区面積計算簿	PDF	
	街区面積測定精度管理表	PDF	
	街区面積測定成果簿	PDF	

表 4-1(g) FR 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形式	備考
現況測量 ・復元測量	地形図	別途協議	
	データファイル説明書	PDF	
	観測手簿	別途協議	
	精度管理表	PDF	
	現況重ね図	SXF	他の CAD データでも可

(※) ファイル形式の補足説明

(*1) XML eXtensible Markup Language(拡張型構造化記述言語)

文字列をタグと呼ばれる<>で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文書中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

(*2) DTD Document Type Definitions(文書型定義)

XML 文書を構成する要素が現れる場所、順序、出現回数などの文書構造を定義

する仕組みである。

(*3) XSL eXtensible Stylesheet Language(エクセスエル)

XML 文書に対してスタイルを設定して、画面や印刷するための書式を整えたり、組み版を行うための仕様である。

(*4) PDF Portable Document Format(ピーディーエフ)

米 Adobe Systems Incorporated が開発したドキュメント・ビューア・ソフト Acrobat で、表示・印刷できるファイル形式である。Acrobat は、ドキュメントを作成した環境と別の環境(異なる機種、OS)との間におけるドキュメント交換を可能にするものである。

(*5) SXF Scadec data eXchange Format(エスエックスエフ)

(財)日本建設情報総合センター(JACIC)が組織した、CAD データ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)により策定された、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。ISO10303/TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。SXF の物理ファイルには、国際標準に則った p21(Part21)形式、国内 CAD データ交換のための sfc 形式 2 種類がある。

本要領案で記述しているファイル形式の SXF とは、CAD データの納品フォーマットを国際標準に則った Part21 形式のことである。

【運用基準】

(地籍図根三角測量)

- 1) 基準点成果簿(写)・選点手簿・三角点現況調査報告書は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 2) 既知点点の記、点の記は PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 3) 選点図・平均図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 4) 埋標手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 6) 偏心計算簿・点検計算簿・網平均計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。

- 7) 受信状況図 (=カーテン情報)、観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 8) 三角点精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 9) 三角点精度管理表付図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 10) 三角点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は 1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。三角点成果簿数値データは、等級 (次数) 種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 11) 三角点網図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 12) 測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式またはオリジナル数値データ形式で納品する。
- 13) 表 4-1(a)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TC*Z*nnn.拡張子」の様につけ、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地籍図根多角測量)

- 1) 基準点成果簿 (写) は PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 2) 選点図・平均図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 3) 観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 4) 点検計算簿・網平均計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 6) 図根多角点精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) 図根多角点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により、適当な単位でまとめて作成する。

枚数の多い PDF ファイルについては、利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。図根多角点成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。

- 8) 図根多角点網図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 9) 測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式またはオリジナル数値データ形式で納品する。
- 10) 表 4-1 (b) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TD*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(先行筆界点調査)

- 1) 調査図素図は、PDF 形式で納品する。また発注者間の協議により PDF 形式に加えて CAD データを納品することができる。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 2) 調査図一覧図・調査図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 3) 地籍境界調査票（データ出力用）は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なおファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考えて 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 4) 土地所有者一覧表、地積測量図写、登記簿謄本及びその他関連資料は PDF で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位で納品する。
- 5) 表 4-1 (c) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TE*Z*nnn. 拡張子」に即して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(街区細部測量)

- 1) 観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なおファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考えて 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 2) 座標計算書は、PDF 形式で納品する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考えて 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当

な単位でまとめて作成する。

- 5) 三次元網平均計算簿・点検計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 6) セット間較差の点検及び座標計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) 先行筆界点成果簿数値データ及び、先行筆界点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、電子納品要領の付属資料 3 を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考えて 100 枚程度に分割してファイルを作成する。先行筆界点成果簿数値データは、受発注者間の協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- 8) 街区細部図根点網図・街区細部図根点配置図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 9) 表 4-1 (d) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(街区調査図の作成)

- 1) 街区調査図、街区調査図一覧図・先行筆界点番号図 (街区点番号図) は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 表 4-1 (e) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(街区面積測定)

- 1) 街区面積計算簿は PDF 形式で納品する。枚数の多い PDF ファイルについては、利用の便を考えて 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 2) 街区面積測定精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 3) 街区面積測定成果簿は、PDF 形式で納品する。PDF 形式の成果簿は 1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 4) 表 4-1 (f) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TG*Z*nnn. 拡張子」に即して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(現況測量・復元測量)

- 1) 現況測量・復元測量データファイルの納品方法については、受発注者間の協議により決定する。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 2) データファイル説明書は PDF 形式で納品する。
- 3) 観測手簿を納品する場合の納品方法については、受発注者間の協議により決定する。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 現況重ね図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 6) 表 4-1 (g) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TR*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

【留意事項】

①各成果品のデータ作成については、利用方法により以下の形式で作成する。

(1) PDF 形式

納品後の主たる利用方法が閲覧である成果は PDF 形式とする。

PDF 形式のファイルを主として以下のいずれかの方法で作成する。

1) アナログ資料のスキャニング

元資料が手書き資料等の紙媒体である場合は、スキャニングにより電子化し、PDF 形式で保存する。スキャニングの解像度は 200dpi 以上を原則とし、文字が識別できるものとする。色調については、元図が白黒の場合は白黒 2 値、色があるものについてはフルカラーを原則とする。

尺度が図中に記載されていない場合、また表記されている尺度とスキャニングの尺度が異なる場合は、図中にスキャニング時の尺度を明記すること。

2) オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフトウェアやワープロ、表計算ソフトウェアで作成した成果品については、印刷機能などにより Acrobat 等を利用して PDF に変換することを原則とする。

(2) 数値データ (TXT 形式)

先行細部図根測量成果簿や、他の測量作業の入力データとして利用される成果等は、数値データ (TXT 形式) とする。数値データのフォーマットは、電子納品要領に規定しているのでこれに準じる。規定されていない成果との数値については、受発注者間で十分協議の上決定し、データの使用を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を別途作成し成果品データと合わせて納品する。

(3) CAD 形式

先行細部図根点網図等の成果は、受発注者間の協議により CAD 形式とすることができる。納品する CAD 形式の使用については受発注者間の協議により決定し、必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を作成の上、成果品データと併せて納品する。納品する CAD 形式については、CAD における標準フォーマットが規定されるまで、受発注者間で十分協議し、CAD のフォーマットを決めること。

(4) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ、表計算ソフトを利用して作成されている成果については、受発注者間の協議によりファイル形式を特定の上、オリジナルのファイル形式とすることができる。オリジナル形式で納品する場合は、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を作成し、成果品データと併せて納品する。

(5) その他の形式

関係団体が推奨しているファイル形式とする場合は、ファイル形式を特定の上、作成することができる。ただし、下記に記載するファイル形式のほか、可能な限り汎用性のあるファイル形式とする。

例) ・ TS 観測手簿・記簿における APA-SIMA

(日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会)

・ GPS 観測手簿における RINEX

②既存地図を利用する時のファイル作成時における注意事項

既存地図を測量成果に使用した場合は、ファイル説明書に出所を明記すること。

例) 「国土地理院発行の 1/25,000 の地形図を地籍図根測量の選点図に一部使用した」

5. ファイルの命名規則

5.1 地籍調査成果ファイル

ファイル名、拡張子は半角英数大文字とし、以下の各項目に従うものとする。

(1) 管理ファイル等

- 1) 測量情報管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、測量情報管理ファイルの DTD は「TSUR_D01.DTD」（01 は版情報）とする。
- 2) 測量成果管理ファイルは、地籍調査「SURV_TSK.XML」とする。地籍調査成果管理ファイルの DTD は「TISK_D01.DTD」（01 は版情報）とする。
- 3) 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、「TSUR_D01.XSL」、「TISK_D01.XSL」（01 は版情報）とする。

(2) 測量成果等

地籍調査成果等のファイル名は、以下の規則を原則とし、図 5-1 に従うものとする。

- 1) 図 5-1 の「○○○」部分には、地籍調査細区分毎に設定した記号（表 5-1 参照）を入れる。
- 2) 図 5-1 の「▲▲」部分には、地籍調査成果の種類を表す名称（表 5-3 参照）を入れる。先頭の▲には表 5-2 の設定記号を使い、後ろの▲にはその地籍調査細区分内での連番を割当てる。表 5-3 の地籍調査細区分の記号の 3 文字目が「*」表現になっている部分は、通常「A」を入れる。複数地区や複数精度の場合、「B, C・・・」を入れる。
- 3) 図 5-1 の「n n n」部分には、同一成果のファイル内で割り振った（001～999）連番を入れる。

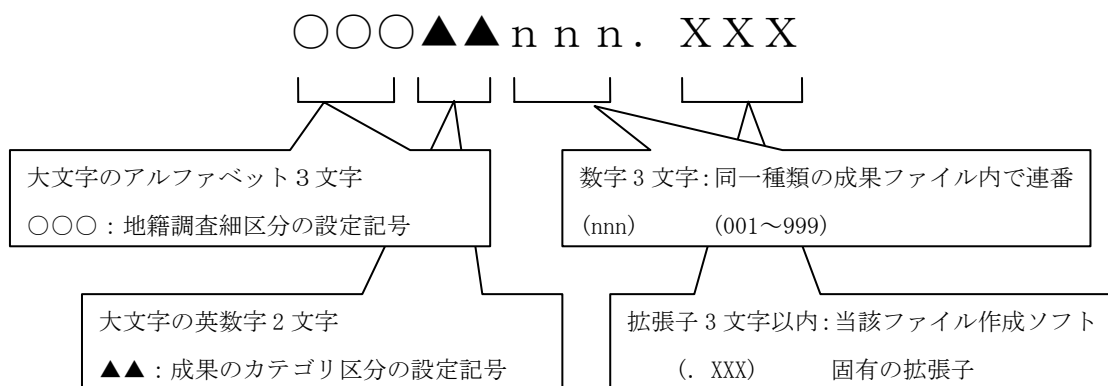


図 5-1 地籍調査成果ファイルの命名規則

注) ファイル名は、半角英数字で記述することを原則とする。ファイル名に使用できる文字は、半角（1バイト文字）で大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみとする。

表 5-1 地籍調査細区分記号一覧

地籍調査工程大分類	地籍調査細区分	設定記号
地籍図根三角測量	地籍図根三角測量	TC*
地籍図根多角測量	地籍図根多角測量	TD*
先行筆界点調査	先行筆界点調査	TE*
街区細部測量	街区細部測量	TF*
	街区調査図原図の作成	TF*
街区面積測定	街区面積測定	TG*
現況測量・復元測量	現況測量・復元測量	TR*

注) 「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じてA～Zならびに1～9を適用する。1地区1精度で実施した場合は「A」を適用する。

表 5-2 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果のカテゴリ	成果等の名称	DATA, WORK 区分	設定記号
点の成果	基準点等成果簿写	WORK	A
	成果簿	DATA	
面の成果	地籍調査票、地積測定成果簿	DATA	B
点の記	選点手簿、既知点点の記	WORK	C
	点の記	DATA	
手簿・記簿	観測手簿、観測記簿等	WORK	D
計算簿類	計算簿	WORK	E
網図・一覧図類	選点図、配置図、平均図、精度管理表付図、調査図素図、調査図一覧図、地形図	WORK	F
	街区細部図根点網図、街区細部図根点配置図、先行筆界点番号図、街区調査図、街区調査図一覧図、街区調査明細図、現況重ね図	DATA	

精度管理表	精度管理表	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、測量標の地上写真等	WORK	H
その他	使用機器検定証明書・試験検査成績書、使用プログラム検定証明書	WORK	J
		OTHS	
上記カテゴリに属さない成果等	観測スケジュール、受信状況図及び、表 4-1 に記載されていない成果等	WORK	Z
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS
実施報告書	実施報告書	DOC	SUVRP

表 5-3(a) C 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区 分
地籍図根三 角測量 <TC*>	基準点成果簿 (写)	A1	WORK
	既知点点の記	C1	WORK
	選点手簿	C2	WORK
	三角点現況調査報告書	H1	WORK
	選点図	F1	WORK
	平均図	F2	WORK
	建標承諾書	——	——
	埋標手簿	D1	WORK
	観測手簿	D2	WORK
	観測記簿	D3	WORK
	偏心計算簿	E1	WORK
	点検計算簿	E2	WORK
	網平均計算簿	E3	WORK
	受信状況図 (=カーテン情報)	Z1	WORK
	観測スケジュール	Z2	WORK
	三角点精度管理表	G1	WORK
	三角点精度管理表付図	F3	WORK
三角点成果簿	A2	DATA	

	三角点成果簿（数値データ）	A3	DATA
	三角点網図	F4	DATA
	点の記	C3	DATA
	測量標の地上写真	H2	WORK

表 5-3(b) D 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区 分
地籍図根多 角測量 <TD* >	基準点成果簿（写）	A1	WORK
	選点図	F1	WORK
	平均図	F2	WORK
	観測手簿	D1	WORK
	観測記簿	D2	WORK
	点検計算簿	E1	WORK
	網平均計算簿	E2	WORK
	観測スケジュール	Z1	WORK
	図根多角点精度管理表	G1	WORK
	図根多角点成果簿	A2	DATA
	図根多角点成果簿（数値データ）	A3	DATA
	図根多角点網図	F3	DATA
	測量標の地上写真	H1	WORK

表 5-3(c) E' 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区 分
先行筆界 点調査	調査図素図	F1	WORK
	調査図一覧図	F2	WORK
	地籍境界調査票（データ出力用）	B1	DATA
	調査図	F3	DATA

表 5-3(d) F' 1 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
街区細部 測量	街区細部図根測量 観測手簿	D1	WORK
	街区細部図根測量 観測記簿	D2	WORK
	街区細部図根測量 座標計算書	E1	WORK
	街区細部図根測量 精度管理表	G1	WORK
	観測スケジュール	Z1	WORK
	三次元網平均計算簿	E2	WORK
	街区細部図根測量 点検計算簿	E3	WORK
	街区細部図根測量 セット間較差の点検及び座標計算書	E4	WORK
	街区細部図根測量 成果簿	A1	DATA
	街区細部図根測量 成果簿 (数値データ)	A2	DATA
	街区細部図根点網図	F1	DATA
	街区細部図根点配置図	F2	DATA
	先行筆界点測量 観測手簿	D3	WORK
	先行筆界点測量 観測記簿	D4	WORK
	先行筆界点測量 座標計算書	E5	WORK
	先行筆界点測量 セット間較差の点検及び座標計算書	E6	WORK
	先行筆界点成果簿	A3	DATA
	先行筆界点成果簿 (数値データ)	A4	DATA
	先行筆界点測量 精度管理表	G2	WORK

表 5-3(e) F' 2 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
街区調査 図の作成	街区調査図	F1	DATA
	街区調査明細図	F2	DATA
	街区調査図一覧図	F3	DATA
	先行筆界点番号図	F4	DATA

表 5-3(f) G' 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
街区面積 測定	街区面積計算簿	E1	WORK
	街区面積測定精度管理表	G1	WORK
	街区面積測定成果簿	B1	DATA

表 5-3(g) FR 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
現況測量 ・復元測量	地形図	F1	WORK
	データファイル説明書	H1	WORK
	観測手簿	D1	WORK
	精度管理表	G1	WORK
	現況重ね図	F2	DATA

6. 検符等及び成果の検査

6.1 検符及び押印

電子納品する地籍調査成果等については、当面の間は検符及び押印を要さないものとする。

【解説】

地籍調査事業工程管理及び検査規程、同細則並びに地籍測量及び地積測定における作業の記録及び成果の記載例によると、受注者が作業工程の中で観測値、計算結果、精度管理表等について作業による自己点検及び実施主体が行う行程管理の点検までに主任技術者等が行う自社点検を行うことが定められている。更に精度管理表等では主任技術者等が確認の押印をすることも行われている。

これまで紙媒体で納品されてきた測量成果等では、当該の測量成果等上に直接、検符や押印がなされ点検作業の証拠とされてきた。この該当する成果としては、「手簿等、計算簿、精度管理表等」がある。

この紙媒体の地籍調査成果等に直接検符、押印を行う方法を電子的に置き換えるものとしては電子的な検符や電子署名の方法があるが、未だ十分には確立した技術になっていない状況である。このため、当面の間、電子納品する地籍調査成果等については検符及び押印を要さないものとして、別途、検符及び押印した地籍調査成果等を受発注者間の協議により納品することとする。

すなわち、受注者での点検作業は、電子納品を行う地籍調査成果等から点検用に紙出力を行い、この上で点検を行い、検符及び押印を行うものとする。

この際、電子納品を行う地籍成果等との原本性を保証するものでなければならない。点検方法及び押印した証拠書類の納品及び方法については受発注者間の協議により定める。

6.2 電子納品成果の検査

電子納品を行う地籍調査成果等の検査は、受注者から提出される電子納品用として完成した CD-R から検査用に紙出力を行い、この上で必要な検査を行う。

これまでは、納品する成果品に直接検符を打つことで点検した証拠としていたが、電子化した測量成果品には、点検した証拠である検符を直接打つことが出来ない。

よって、完成した納品用の CD-R から検査用に紙出力を行い、これに直接検符を行うことによって検査を行うこととする。6.1 で受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議する。

7. 電子媒体

7.1 電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

(1) 媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。

- 1) 業務名称（「先行調査」と明記する）
- 2) 作成年月
- 3) 発注者名
- 4) 受注者名
- 5) 何枚目/総枚数
- 6) ウイルスチェックに関する情報

使用した「ウイルス対策ソフト名」、「ウイルス定義年月日」、「チェック年月日」を明記する。詳細は「土木設計業務等の電子納品要領(案)」による。

7) フォーマット形式

(2) 媒体を入れるプラスチックケースのラベルの背表紙には、以下のような情報を横書きで明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月日

(3) 納品する CD-R にラベルを貼り、必要項目を全て記載するものとする。



8. その他留意事項

8.1 電子納品の対象外となる成果等

地籍調査成果のうち、原本自体に意味があるもの及び電子化が困難な以下の成果は電子納品の「対象外」とする。

①原本自体に意味があるもの。

・地籍境界調査票

②電子化が困難なもの

なし

8.2 測地系

本要領で扱う測地系は、原則として世界測地系とする。

【解説】

測量法改正（平成13年6月20日）によって、平成14年4月1日から測量法に従って行われる地籍調査の測量は、新しい測地系（世界測地系）に準拠して行うこととなった。

このため、地籍調査の成果の電子納品に適用される本要領では、新しい測地系（世界測地系）に準拠した地籍調査成果の納品を原則として義務付けるものである。

付属資料1

1-1 測量情報管理ファイルの DTD 例

```
<!--TSUR_D01.DTD / 2004/11-->
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報,場所情報+,測量情報+,その他?,ソフトメーカ用TAG*)>
<!ATTLIST SURVEY DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!-- ***** -->
<!--          基礎情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準,助言番号,製品仕様書名または作業規程名,地籍調査成果格納用フォルダ名?,基準
点測量成果格納用フォルダ名?,水準測量成果格納用フォルダ名?,地形測量成果格納用フォルダ名?,路線測量成果格納用
フォルダ名?,河川測量成果格納用フォルダ名?,用地測量成果格納用フォルダ名?,ドキュメント格納用フォルダ名?)>

<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 製品仕様書名または作業規程名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 水準測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地形測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 路線測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 河川測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 用地測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--          場所情報          -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号,測量区域名?,区域情報)>

<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
<!--*****-->
<!--          区域情報          -->
<!--*****-->
```

<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?, 東側境界座標経度?, 北側境界座標緯度?, 南側境界座標緯度?, 平面直角座標系, 西側境界平面直角座標?, 東側境界平面直角座標?, 北側境界平面直角座標?, 南側境界平面直角座標?)>

<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 平面直角座標系 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 西側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 東側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 北側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->

<!-- 測量情報 -->

<!-- ***** -->

<!ELEMENT 測量情報 (測量区分, 地籍調査細区分, 地籍調査記録フォルダパス名, 地籍調査成果フォルダパス名?, その他データフォルダパス名?, 測量区域No, 等級精度, 画像種別?, 解像度?, アナログデジタル区分?, 新規修正区分?, 面積?, 距離?, 点数?, モデル数?)>

<!ELEMENT 測量区分 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 地籍調査細区分 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 地籍調査記録フォルダパス名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 地籍調査成果フォルダパス名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT その他データフォルダパス名 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 測量区域No (#PCDATA)>

<!-- ***** -->

<!-- 等級精度 -->

<!-- ***** -->

<!ELEMENT 等級精度 (等級?, 精度?)>

<!ELEMENT 等級 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 精度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 画像種別 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 解像度 (#PCDATA)>

<!ELEMENT アナログデジタル区分 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 新規修正区分 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 面積 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 距離 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>

<!ELEMENT モデル数 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->

<!-- その他 -->

<!-- ***** -->

<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>

1-2 地籍調査成果管理ファイルの DTD 例

```
<!-- TISK_D01.DTD / 2004/11-->
<!ELEMENT SURV_DATA (地籍調査成果情報+, その他?, ソフトメーカ用TAG?)>
<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!-- ***** -->
<!--          地籍調査成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 地籍調査成果情報 (地籍調査区分フォルダ名, 地籍調査成果区分フォルダ名, 地籍調査細区分フォルダ名?, 地籍調査成果名称, 地籍調査成果ファイル形式, 地籍調査成果レコードフォーマット?, 地籍調査成果作成ソフトウェア名?, 成果ファイル情報+)>

<!ELEMENT 地籍調査区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果レコードフォーマット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          成果ファイル情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 成果ファイル情報 (地籍調査成果ファイル名, 地籍調査成果ファイル名副題?)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル名副題 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

付属資料 2

2-1 測量情報管理ファイルの XML 例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURVEY SYSTEM "TSUR_D01.DTD">
<SURVEY DTD_version="01">
  <基礎情報>
    <適用要領基準>先行 200704-02</適用要領基準>
    <助言番号>99999999</助言番号>
    <製品仕様書名または作業規程名>地籍調査作業規程準則及び同運用基準</製品仕様書名または作業規程名>
    <地籍調査成果格納用フォルダ名>TISEKI</地籍調査成果格納用フォルダ名>
  </基礎情報>
  <場所情報>
    <測量区域番号>1</測量区域番号>
    <測量区域名>〇〇区の一部地区</測量区域名>
    <区域情報>
      <平面直角座標系>3</平面直角座標系>
      <西側境界平面直角座標>86000</西側境界平面直角座標>
      <東側境界平面直角座標>87600</東側境界平面直角座標>
      <北側境界平面直角座標>-184200</北側境界平面直角座標>
      <南側境界平面直角座標>-186000</南側境界平面直角座標>
    </区域情報>
  </場所情報>
  <測量情報>
    <測量区分>地籍調査</測量区分>
    <地籍調査細区分>地籍図根多角測量 A</地籍調査細区分>
    <地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/DPROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>
    <地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/DPROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>
    <その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
    <測量区域 No>1</測量区域 No>
    <等級精度>
      <精度>1</精度>
    </等級精度>
    <アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>
    <新規修正区分>1</新規修正区分>
```

<点数>576</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>地籍調査</測量区分>
<地籍調査細区分>現況・現況測量・復元測量 A</地籍調査細区分>
<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/FRPROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>
<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/FRPROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名></その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<等級精度>
<精度>1</精度>
</等級精度>
<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
</測量情報>
<その他>
<受注者説明文></受注者説明文>
<予備></予備>
</その他>
</SURVEY>

2-2 地籍調査成果管理ファイルの XML 例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURV_DATA SYSTEM "TISK_D01.DTD">
<SURV_DATA DTD_version="01">
  <地籍調査成果情報>
    <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
    <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
    <地籍調査細区分フォルダ名>FRPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
    <地籍調査成果名称>地形図</地籍調査成果名称>
    <地籍調査成果ファイル形式>p21</地籍調査成果ファイル形式>
    <成果ファイル情報>
      <地籍調査成果ファイル名>TRAF1001.p21</地籍調査成果ファイル名>
      <地籍調査成果ファイル名副題>地形図</地籍調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </地籍調査成果情報>
  <地籍調査成果情報>
    <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
    <地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
    <地籍調査細区分フォルダ名>FRPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
    <地籍調査成果名称>現況重ね図</地籍調査成果名称>
    <地籍調査成果ファイル形式>p21</地籍調査成果ファイル形式>
    <成果ファイル情報>
      <地籍調査成果ファイル名>TRAF2001.p21</地籍調査成果ファイル名>
      <地籍調査成果ファイル名副題>現況重ね図</地籍調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </地籍調査成果情報>
  <その他>
    <受注者説明文></受注者説明文>
    <予備></予備>
  </その他>
</SURV_DATA>
```

付属資料 3

3-1 地籍調査成果簿出力フォーマット

(1) 地籍調査成果簿出力フォーマット基本構造

- 1) 成果簿出力フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードは、ASCIIコード、漢字コードはシフトJISコードとする。
- 3) 成果表出力フォーマットのファイルは、拡張子を”TXT”とする。
- 4) レコードの記述方法

データ区分	区切り	項目 1	区切り	・・・	項目 n	区切り	CRLF
-------	-----	------	-----	-----	------	-----	------

データ区分	<ul style="list-style-type: none"> ・その行のデータの種類を表す記号。この情報は省略できない。 ・1文字目が英字で2, 3文字目が数字の3文字とする。
区切り	<ul style="list-style-type: none"> ・各データの項目は、“,” (カンマ) によって区切るものとする。
項目 1～項目 n	<ul style="list-style-type: none"> ・項目を省略する場合は“,”とする。 ・データ区分に応じて項目数は変わり、次ページ以降の記載通りとする。
CRLF	<ul style="list-style-type: none"> ・各行の終了コード(0D0Ah)で、各行の最大長は、CRLFを含まず、128バイトとする。

【成果簿出力フォーマット注意事項】

- ①名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“,” (カンマ) を使用しないこととする。また、数字データにも“,” (カンマ) を使用しないこととする。
- ②名称、コメント以外のデータは、半角文字とする。

(2) 地籍調査成果簿フォーマット

1) コメントデータ (コメントを示すデータ)

Z00, コメント, フォーマット識別子, バージョン, CRLF

Z00	コメントを示すデータ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット 識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のとおり。(整数1桁) 0: 地籍調査成果フォーマット	省略不可
バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン	省略不可

	表記はマイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、整数 2 桁、小数点以下 2 桁の 5 桁表記とする。(01.00 に固定)	
--	--	--

2) タイトルデータ (業務のタイトル名を示すデータ)

Z01, タイトル, CRLF

Z01	タイトルを示すデータ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ (測地系を示すデータ)

Z02, 測地系, 座標系, CRLF

Z02	測地系を示すデータ区分。	省略不可
測地系	0 : 世界測地系、1 : 日本測地系 (0 : 原則として世界測地系に固定)	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略可

4) 座標出力開始データ (座標データの出力開始を示すデータ)

A00, CRLF

A00	座標データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

5) 座標データ (点の座標を示すデータ)

A01, 点番号, 点名称, 緯度, 経度, X 座標, Y 座標, 座標系, 標高, ジオイド高, CRLF

A01	座標データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5 桁の整数とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略不可
緯度, 経度	緯度は、小数点型式 (DD° .MM' SS" SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 経度は、小数点型式 (DDD° .MM' SS" SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 X, Y 座標の記載がある場合は省略可。	省略可
X, Y	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。 緯度、経度の記載が有る場合は省略可。	省略可
座標系	平面直角座標系	省略不可
標高	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。 水平網のみの場合省略可。	省略可

ジオイド高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可
-------	--------------------------	-----

6) 属性データ (点の属性を示すデータ)

A02, 種別, 等級 (次数), 縮尺係数, 真北方向角, 標識, 測定方式, 材質, 精度区分, 兼用点名, アンテナ高, CRLF

A02	属性データを示すデータ区分。	省略不可
種別	1: 基本三角点、2: 四等三角点、3: 標定点 4: 地籍図根三角点、5: 地籍図根多角点 6: 細部図根点、7: その他の図根点、 8: 航測図根点、9: 図解図根点、10: 筆界点 ※図解図根点は図解法で測量時のみ。	省略不可
等級 (次数)	2桁の整数とする。 10: 電子基準点 11~14: 1等~4等 21~24: 1級~4級 31~33: 1次~3次 地籍図根多角点 41~42: 4次~5次 細部多角点 43~44: 1次~2次 放射点 (地籍図根三角点は3級基準点と同様とする。) 筆界点の場合は省略可。	省略可
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁までとする。 地籍図根三角点の場合は省略不可。	省略可
真北方向角	小数点形式 (DD° . MM' SS" S) とし、秒以下1桁までとする。	省略可
標識	1: 非埋標、2: 本点、3: 永久標識、 4: 筆界基準杭、5: その他	省略不可
測定方式	1: 地上法、2: GPS法、3: 航測法、4: その他 11: 図解法、12: 数値法、13: 航測数値法 14: 正射写真図法、15: 併用図解法 16: 併用数値法、17: その他 0: 不明 (図根点等の場合は、0~4の中から選択し、 筆界点の場合は、11~17及び0の中から選択 する。) ※図解法、併用図解法は図解法で測量時のみ。 ※ここに記述している地上法とは、TS測量による地上	省略不可

	法であり、GPS法とは、GPS測量による地上法のことである。	
材質	1：金属標、2：鋳、3：プラスチック、4：コンクリート、 5：真鍮、6：アルミプレート、7：石、8：刻印、9：木 10：ペンキ、11：マンホール利用、12：その他、0：不明	省略可
精度区分	1：甲1、2：甲2、3：甲3、4：乙1、5：乙2 6：乙3 図根点・筆界点は省略不可。	省略可
兼用点名	当該点が地籍図根点等を兼ねた場合の地籍図根点等の 点名。(筆界点の場合のみ)	省略可
アンテナ高	等級10：電子基準点の時省略不可。	省略可

7) 視準数データ (視準成果の方向数を示すデータ)

A03, 方向数, CRLF

A03	視準成果の方向数を示すデータ区分。	省略可
方向数	2桁以内の整数とする。 (方向が無い場合は0を入れる。)	省略不可

視準成果がない(方向数=0)場合は、視準(A04)レコードを省略可。

8) 視準数データ (点の視準成果を示すデータ)

A04, 点番号, 点名称, 等級(次数), 平均方向角, 距離, 備考, 観測日 CRLF

A04	視準成果データを示すデータ区分。	省略可
点番号	5桁の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
等級(次数)	2桁の整数とする。 10：電子基準点 11～14：1等～4等 21～24：1級～4級 31～33：1次～3次 地籍図根多角点 41～42：4次～5次 細部多角点 43～44：1次～2次 放射点 (地籍図根三角点は3級基準点と同様とする。)	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式(DD° . MM' SS" S)とし、 秒以下1桁まで記載する。	省略不可
距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略不可
備考	桁数の制限は行わず、各社システムに取り込む際、有	省略可

	効桁数に調整する。	
観測日	形式 (YYYYMMDD : 年月日) 観測が複数日にわたる場合は、観測初日を記載する。	省略可

9) 座標出力終了データ (座標データの出力終了を示すデータ)

A99, CRLF

A99	座標データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

10) 路線出力開始データ (路線データの出力開始を示すデータ)

P00, CRLF

P00	路線データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

11) 路線開始データ (路線開始を示すデータ)

P01, 路線名, 次数, 測点数, 路線長, 精度区分, CRLF

P01	当該路線の開始を示すデータ区分。	省略不可
路線名	40 バイト以下 放射法の時のみ省略可。	省略可
次数	1 桁の整数とする。 放射法の時のみ省略可。	省略可
測点数	2 桁の整数とする。	省略不可
路線長	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。 放射法の時のみ省略可。	省略可
精度区分	1 : 甲 1、2 : 甲 2、3 : 甲 3、4 : 乙 1、5 : 乙 2 6 : 乙 3	省略不可

12) 観測点データ (路線を構成する測点を示すデータ)

P02, 点番号, 点名称, 平均方向角, 平均距離, CRLF

P02	路線を構成する測点を示すデータ区分。	省略不可
点番号	5 桁の整数とする。	省略可
点名称	40 バイト以下	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式 (DD° . MM' SS" S) とし、 秒以下 1 桁まで記載する。	省略可
平均距離	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。	省略可

13) 路線出力終了データ (路線データの出力終了を示すデータ)

P99, CRLF

P99	路線データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

14) 出力開始データ（地積測定データの出力開始を示すデータ）

G00, CRLF

G00	地積測定データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	-----------------------	------

15) 地積測定データ（筆ごとの地積を示すデータ）

G01, 大字コード, 小字コード, 大字名称, 小字名称, 地番, 地目, 面積, 精度区分,

CRLF

G01	筆の面積を示すデータ区分。	省略不可
大字コード	大字コードの整数とする。 大字が無い時は0を格納する。	省略不可
小字コード	小字コードの整数とする。 小字が無い時は0を格納する。	省略不可
大字名称	大字の名称とする。 大字が無い時は「ブランク」とする。	省略不可
小字名称	小字の名称とする。 小字が無い時は「ブランク」とする。	省略不可
地番	40 バイト以下	省略不可
地目	地目のコードを2桁の整数で格納する。	省略不可
面積	小数点形式、㎡単位とし、㎡以下4桁目を四捨五入し、 3桁まで記載する。	省略不可
精度区分	1：甲1、2：甲2、3：甲3、4：乙1、5：乙2 6：乙3	省略不可

16) 図面番号データ（筆が属する図面の数を示すデータ）

G02, 図面番号数, CRLF

G02	図面番号数を示すデータ区分。	省略不可
図面番号数	2桁の整数とする。	省略不可

17) 図面番号データ（筆が属する図面を示すデータ）

G03, 図面番号, 分属, CRLF

G03	筆が属する図面を示すデータ区分。	省略不可
図面番号	40 バイト以下	省略不可
分子（分属）	2桁の整数とする。	省略可

分母（分属）	2桁の整数とする。	省略可
記号（分属）	1 地籍図の区域内に同一地番の分属が2つ以上ある場合の記号。	省略可

18) 出力終了データ（地積測定データの出力終了を示すデータ）

G99, CRLF

G99	地積測定データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	-----------------------	------

19) 地籍図根三角測量成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00

Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 地籍図根三角測量成果,

Z02, 0, 3,

A00,

A01, 1, 布袋岩, , , -184114. 460, 85917. 940, 3, 34. 250, 34. 730,

A02, 2, 14, 0. 999990, , 3, 0, , , ,

A03, 0,

A01, 2, 黒浜, , , -185236. 260, 87504. 410, 3, 184. 390, 34. 770,

A02, 2, 14, 0. 999994, , 3, 0, , , ,

A03, 1,

A04, 4, M04102G, 23, 192. 0202, 570. 794, , ,

A01, 3, M04009G, , , -185187. 145, 87022. 072, 3, 58. 290, ,

A02, 4, 23, 0. 999993, , 3, 4, , , ,

A03, 2,

A04, 5, M04008G, 23, 46. 3528, 447. 508, , ,

A04, 6, M04101G, 23, 123. 5202, 315. 715, , ,

A01, 4, M04102G, , , -185794. 510, 87385. 405, 3, 80. 520, ,

A02, 4, 23, 0. 999994, , 3, 4, , , ,

A03, 1,

A04, 2, 黒浜, 14, 12. 0202, 570. 794, , ,

A99,

20) 地籍図根多角測量成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,

Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 地籍図根多角測量成果,

Z02, 0, 3,

A00,

A01, 1, M04M04111-1, , , -184927. 869, 87381. 916, 3, 35. 215, ,
A02, 5, 31, , , 2, 3, 3, , ,
A01, 2, M04M04211-2, , , -184952. 325, 87386. 734, 3, , ,
A02, 5, 32, , , 5, 3, 3, , ,
A01, 3, M04M04311-3, , , -184969. 193, 87393. 368, 3, , ,
A02, 5, 33, , , 5, 2, 3, , ,
A01, 4, M04M04111-4, , , -184995. 287, 87387. 208, 3, , ,
A02, 5, 31, , , 2, 3, 3, , ,
A01, 5, M04M04111-5, , , -185019. 010, 87391. 712, 3, , ,
A02, 5, 31, , , 5, 3, 3, , ,
A99,
P00,
P01, M04M04111, 1, 7, 185. 905, 3,
P02, , M04008G, 144. 1439, 59. 459,
P02, 1, M04M04111-1, 168. 5118, 24. 926,
P02, 2, M04M04111-2, 158. 3151, 18. 126,
P02, 3, M04M04111-3, 193. 1657, 26. 811,
P02, 4, M04M04111-4, 169. 1500, 24. 147,
P02, 5, M04M04111-5, 156. 3559, 32. 436,
P02, , 黒浜, , ,
P99,

21) 街区細部測量成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,
Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 街区細部測量成果,
Z02, 0, 3,
A00,
A01, 1, M04M04414-1, , , -184831. 731, 86798. 690, 3, , ,
A02, 6, 41, , , 5, 3, 2, , ,
A01, 2, M04M04414-2, , , -184837. 491, 86771. 019, 3, , ,
A02, 6, 41, , , 5, 3, 2, , ,
A01, 3, M04M04414-3, , , -184850. 393, 86738. 265, 3, , ,
A02, 6, 41, , , 5, 3, 2, , ,
A01, 4, M04M04414-1-A, , , -184985. 354, 86797. 157, 3, , ,
A02, 7, 43, , , 5, 3, 3, , ,
A99,

P00,
P01, M04M04414, 4, 5, 103. 276, 2,
P02, , M04M0414-11, 260. 1124, 16. 933,
P02, 1, M04M04414-1, 258. 1428, 28. 264,
P02, 2, M04M04414-2, 248. 3001, 35. 203,
P02, 3, M04M04414-3, 259. 1137, 22. 876,
P02, , M04M0414-6,
P01, , , 2, 37. 722, 3,
P02, 1, M04M0414-1, 32. 2142, 37. 722,
P02, 4, M04M04414-1-A,
P99,

22) 先行筆界点成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,
Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 先行筆界点成果,
Z02, 0, 3,
A00,
A01, 1, C674, , , -185563. 647, 86730. 528, 3, , ,
A02, 10, , , , 5, 2, 3, , ,
A01, 2, C675, , , -185564. 320, 86729. 484, 3, , ,
A02, 10, , , , 5, 3, 3, , ,
A01, 3, C676, , , -185575. 765, 86741. 224, 3, , ,
A02, 10, , , , 5, 3, 3, , ,
A01, 4, C677, , , -185576. 369, 86740. 270, 3, , ,
A02, 10, , , , 5, 3, 3, , ,
A01, 5, C700, , , -185916. 512, 87121. 144, 3, , ,
A02, 10, , , , 4, 3, 3, , ,
A01, 6, C707, , , -185856. 065, 87255. 903, 3, , ,
A02, 10, , , , 4, 3, 3, M04M04113-8, ,
A99,